

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3991200019		
法人名	社会福祉法人 香南会		
事業所名	グループホーム ゆうりこう		
所在地	高知県香美市土佐山田町百石町1丁目3番44号		
自己評価作成日	平成27年9月10日	評価結果 市町村受理日	平成27年12月14日

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

当事業所は、緑豊かな香美市の中心部に位置しており、隣接には郵便局、緊急時には直ぐに対応できるような所に病院や消防署、周辺には大型スーパーやホームセンター、衣料品店と利便性に優れた生活しやすい環境にあります。事業所の中は、窓も多く広く明るいゆったりとしたスペースを設けており、入居者様も居室だけでなく、ホールや畳の間スペースと思いきいの場所でくつろいで過ごせる配置になっています。日課としては、機能低下防止のために個々の状態に合わせた個別訓練や軽作業への取り組みがなされ、毎月、音楽療法士の先生やボランティアの方々が訪問していただき、歌や会話を笑顔で楽しまれ、生き生きとした生活を送られています。料金も低料金で、法人の中には、重度化した場合にも対応できるような介護保険施設などもあり、支援体制も充実しています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaiyokensaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kihon=true&amp;jiyosvoCd=3991200019-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022">http://www.kaiyokensaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2015_022_kihon=true&amp;jiyosvoCd=3991200019-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成27年10月28日

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の周辺には、郵便局、消防署、医療機関、量販店等日常生活に結びついた施設が集まっており、利便性に恵まれている。事業所の居間等の共用空間、各居室は広くゆったりとしており、事業所前の駐車場もイベントが可能な広さがある。両ユニットの管理者は今年4月からの勤務であるが、地域交流の理念を念頭に地域や家族とのコミュニケーションを図ることに努力し、傾聴ボランティア等を通じて地域との交流の輪を広げることに努めている。また、経験を積んだ職員や新人職員と共に職員会と勉強会でケアの在り方を話し合い、より良い事業所を目指して一体となって取り組んでいる。特に、利用者の身体機能の低下予防に力を入れ、午前、午後に車いす、シルバーカー、歩行補助具等を使用して個別に運動を行っている。職員研修には法人全体で取り組んでおり、身体拘束・虐待、人権等ケアの基本となる事項について職員の意識向上を図っている。職員会は、勤務割りを踏まえ全職員に周知できるよう月3~4回に分けて開催し、職員からのケアに関する提案等を汲み取り反映している。

# 自己評価および外部評価結果

ユニット名:せせらぎ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた土地でこれまでと同じように家族や友人、近所の方々と交流を深めながら、生活が送れるよう職員全員で話し合い理念を継続している。	「地域の中で家族や知人、近隣住民と交流しながら、楽しく安らぎのある心豊かな暮らしを目指す」という趣旨の理念を掲げ、職員会や勉強会で職員全員と理念に基づくケアを話し合い、知人等との交流を図りながら理念の実践に努めている。	
2	(2)	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	一部の入居者と一緒に地区活動へ参加したり、地域のボランティアを活用したりして積極的に交流を深めれるように取り組んでいる。	町内会に加入し、清掃活動に参加するほか、近隣住民である傾聴ボランティアが月3～4回訪問したり、事業所の敬老会に民生委員のグループが協力してくれており、そのつながりを活かして、地域との交流を促進するよう取り組んでいる。	事業所の季節行事を発信したり、駐車場スペースを活用したイベントを企画するなど、地域への働きかけをさらに強めて、地域との交流がより活発になることを期待したい。
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	傾聴ボランティアの受け入れや、地域民生委員からの相談や近所の方が来られた際には、認知症の人々への理解や支援方法、グループホームについての説明を行っている。	/	/
4	(3)	<b>○運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、事業所での取り組みや行事、入居者様の様子等について報告し、その場で出た意見は収集し、事業所の質の向上に繋げるようにしている。	会議では事業所の活動報告等を行い、参加者と意見を交換している。様々なボランティアの紹介や地区情報を聞いて、運営に反映している。意見交換の内容は簡潔にまとめ、家族に配付している。ただし、家族参加は1名であり、地域代表の数も限られている。	出来るだけ多くの異なった立場から、事業所運営への意見を得て、運営に活かしていくために、家族の参加増や、地域代表に地区長や関係職種の人を加えるなど、会議がより活性化する工夫を期待したい。
5	(4)	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃から小まめに足を運び、些細なことでも連絡や相談を行い、担当者と良好な関係が築けるよう努めている。行政が開催する研修にも参加し、連携が取れるよう取り組んでいる。	運営推進会議出席の行政職員と意見交換するほか、介護認定更新時に担当課に出向いて相談している。家族からの相談事項に助言をもらったり、年6回の市主催の研修会に出席して、協力関係を築いている。	
6	(5)	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人全体で取り組んでおり、積極的な研修参加や事業所としても職員会などで勉強をし学んでいる。	法人全体の身体拘束・虐待に関する研修や、他事業所合同の職員会、毎月の所内勉強会等で身体拘束をしないケアへの理解を深めている。ケアの場面では、ベッド柵の位置や声かけが拘束になっていないか注意し、外出傾向のある利用者の心身の状態を把握して見守り、家族へもリスクの説明をして拘束のないケアに取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	法人全体で取り組んでおり、積極的な研修参加や事業所としても職員会などで勉強を学んでいる。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人全体で取り組んでおり、積極的な研修参加や事業所としても職員会などで勉強を学んでいる。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	相談時や申し込み、契約時に説明を行い、理解・納得していただいた上で入居契約を行っている。		
10	(6)	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や日頃からのコミュニケーションを充実させ、入居者様やご家族様の意見や要望を聞いている。聞いた意見や要望は申し送りや会議で話し合い、業務に反映させている。	利用者の意見や要望は日々聞き取り、職員会等でケアへの反映に努めている。家族からは、面会時に個別ケアの相談を受け、年3回の家族会では食事会を兼ねて交流と意見交換を行い、外出や機能訓練に家族の好評価を得ている。家族会の記録は家族全員に送付している。	
11	(7)	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日頃から職員とコミュニケーションを図り、常に意見交換をしている。職員会や定期的にアンケートを実施し、話し合っている。	随時に職員アンケートを実施し、管理者が職員に聞きたいことや困っていること、ケアの改善点等を質問項目に上げ、回答を得ている。アンケートの実施で職員とのコミュニケーションも良くなっており、職員意見を運営に反映させている。また、個人面談も実施している。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	コミュニケーションを図り、職員一人ひとりの生活環境の把握を行い、必要に応じて個別面談や法人への働きかけを行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取り組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修情報を職員に提供し、順次参加ができるように働きかけている。毎月の職員会でも勉強会を行い学んでいる。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内外の他グループホームとの交流や、研修で知り得た同業者との情報交換を通してサービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面接を行い、心身の状態や要望などを聞くように努めている。また、可能な場合は事業所を見学して頂き、少しでも不安が解消できるように努めている。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様とも事前面接を行い、これまでの経緯や困っている事、要望などの把握に努めている。		
17		<b>○初期対応の見極めと支援</b> サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	必要としているサービスがある際は、本人やご家族様と話し合い、法人内外の関係機関や行政と連絡を取り合い調整し、サービスに繋げるなどの対応を行っている。		
18		<b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人と一緒に軽作業や畑仕事などを行いながら、会話を通じて個々の思いや状況把握に努め、生活の中からいろんな事を教わっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には日頃の様子を報告し、遠方で面会が難しいご家族様には、便りや電話などを利用し報告し要望などを伺うようにしている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	知人や友人、ご家族様の訪問・外出などの交流が継続して行えるよう支援している。	利用者の馴染みの人や場所は、生活歴や面会時に家族から聞いて把握している。事業所には知人や以前の仕事仲間、自宅の近所の人等の訪問があり、職員が仲介して関係継続を支援している。かかりつけ医への通院時にも、知人に出会って支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係について職員間で情報共有し、良好な関係を保てるように職員が間に入り支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	いつでも気軽に相談できるような関係作りに努めている。実際、ご家族様から転院や介護サービスの事で相談を受けたりしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの生活歴や日々の生活の中から本人の要望や意向の把握に努め、困難な方に対しても表情や仕草から思いが汲み取れるよう対応している。	利用者が話しやすい職員が対応して思い等を聞くようにしており、利用者が理解しやすいよう短い言葉かけを工夫し、表情等からも思いを汲み取ってケアへの反映に努めている。思い等の把握にはセンター方式のシートも一部利用しているが、日々の記録には思いに関する記録が乏しい。	毎日の個人記録に、利用者から把握できた感情や気持ちについても記録し、より本人らしさの理解につなげてケアに活かしていくことを期待したい。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族とのコミュニケーションを通して聞き出したりして生活歴の把握に努め、情報は職員間で共有している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		<b>○暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの生活リズムを把握し、一緒に軽作業をする中でコミュニケーションを図り、心身状態や能力の把握に努めている。また、できる事を継続して行えるよう支援している。		
26	(10)	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人やご家族様の要望や意見も取り入れながら職員間で話し合い、個々の現状に合った介護計画の作成に努めている。	介護計画は、3カ月毎にモニタリングを行い見直している。見直しに当たっては、家族会や、面会、電話等で家族の意向を確認し、職員会で看護師等の専門職の意見も参考にしながら職員で話し合い、作成している。内容は家族の意向を重視し、機能維持に力点を置いている。また、状態変化時には随時見直している。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別で排泄や食事、日々の様子について記録している。また、職員間で情報共有できるように申し送りノートを活用し、出勤時には確認している。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人やご家族様の状況に応じて、通院や買い物等の必要な支援を柔軟に行っている。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	消防署に協力してもらいながら、避難訓練や救命講習の受講を行っている。また、地域住民との交流も呼びかけている。		
30	(11)	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人やご家族様が希望するかかりつけ医を受診できるように支援している。通院は家族同行を基本としているが、緊急時や不可能な際は職員が代行している。	利用者・家族が希望するかかりつけ医で受診しており、受診は家族を基本としているが職員が付き添うことが多い。協力医は月1回往診し、月2回の訪問看護がある。受診結果は家族に伝え、医療記録に記載して職員間で共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職との協働</b> 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化がある際は、訪問看護ステーションの看護師と連絡を取り合い、指導・助言・指示をいただき必要な受診や看護を受けられるよう連携を図っている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	相談員やご家族様と連絡を密に取り、できるだけ早期退院ができるような関係性の維持向上に努めている。		
33	(12)	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	法人で指針を定めており、入居契約時に本人やご家族様にも説明を行っており、主治医、訪問看護師とも常に連携が図れるような関係性に努めている。	利用者及び家族には、看取りの指針に基づき事業所の方針を伝え、同意を得ている。重度化時には、訪問看護師や協力医、家族と相談しながら、医療処置の必要性等を検討し、状態に適した対応を取ることにしている。職員は終末期ケアの研修を受けている。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時や事故発生時についての勉強会を行っている。普通救命講習の受講も随時行うようにしている。		
35	(13)	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署、入居者、職員と共に年2回以上の避難訓練を行っている。その際、消火器の使用法、避難経路や非常食、備蓄品等の確認も行い、自己点検表も記入している。	消防署の協力を得て年2回の防火訓練と、火災・地震通報等の自主訓練を年2回実施している。避難場所は近隣の大型店舗にしているが、2階ユニットの利用者は緊急に2階ベランダに避難することになっている。消防設備点検を月1回行い、食糧等は3日以上を備蓄している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	<b>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</b> 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	法人全体で取り組んでおり、事業所としても職員会で勉強を学んでいる。	法人の研修や、職員会・所内勉強会で尊厳の研修を行い、利用者の人権を守る意識を職員に浸透させている。ケアの中で尊厳を損ねる言葉遣いや対応があれば、リーダー格の職員を中心に注意している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のコミュニケーションの中で、本人の言動や行動、表情や仕草などを通して意向の把握に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々の状況や状態を把握し、一人ひとりのペースに沿った支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々の生活習慣に合わせ、その人らしいお洒落ができるよう支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の栽培や収穫を一緒に行い、調理や片付けなども一緒に行っている。	献立は法人の栄養士が作成しているが、保存の食材や庭の畑で採れた野菜等を利用して、利用者の好みに合う調理をしている。食事のときは音楽を流したり話題を提供し、利用者は下ごしらえや片付けなどを手伝いながら、家庭的な雰囲気を楽しんでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	摂取量や体重増減の把握に努め、日々の状態を記録し、少ない方や必要な方には嗜好に応じた補食を提供するなどの支援を行い、栄養管理に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛けを行い、本人の能力に応じて口腔ケアができるよう支援している。必要があれば歯科訪問診療の調整も行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、できるだけトイレで排泄ができるよう声掛けや誘導を行っている。	排泄チェック表で各利用者の排泄時間を把握してトイレ誘導しており、紙パンツとパッドを着用している利用者には、できるだけ漏れが生じないように誘導し、失敗が減少した事例もある。排泄が自立している利用者にも、排泄の確認や見守りを行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因や影響を職員が理解し、食事の工夫や運動を実施し予防に取り組んでいる。また、医療機関と連携を取りながら緩下剤を調整している。		
45	(17)	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	個々の状況や希望時間、タイミングに合わせて支援している。入浴剤やシャンプー、ボディソープなども変え、楽しんで頂けるように努めている。	利用者の希望に応じて、毎日でも入浴できる体制にしている。入浴時間も、利用者の希望や体調に合わせて柔軟に対応しており、入浴の拒否があれば、言葉かけ等を工夫して入浴につなげ、利用者の専用シャンプー等も使用し入浴を楽しめるようにしている。	
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、熟睡できるよう、日中の活動を促し、生活リズムが整えられるよう支援している。体調不良時や希望時は、安静や仮眠の時間を個々に設けている。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋を管理し、職員がいつでも用法について確認と把握ができるようにしている。変更や注意事項がある際は随時申し送りを行っている。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々のできる事や好きな事を把握し、職員と一緒に出来るよう支援している。		
49	(18)	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	個々の体調や希望に合わせて、散歩や買い物、ドライブで外出している。畑の世話や駐車場で日光浴をしながら話している。	利用者の希望に沿って散歩に出かけたり、駐車場で日光浴や敷地内の畑の世話をし、外気に触れるようにしている。車いすの利用者も外出しており、季節によってあじさいや桜の花見に出かけ、家族会の開催時には外食することもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族様や事業所管理であるが、希望する際は職員が同行し、買い物支援等も行って		
51		<b>○電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様には、いつでも電話をしたり、手紙を出したりできるように話をしている。		
52	(19)	<b>○居心地のよい共用空間づくり</b> 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の変わり目には、その時期の季節飾りを一緒に飾るようにしている。	南面のガラス窓からの採光が良く、居間はゆったりとしたスペースがあり、雑談して過ごせるようにソファを配置している。また、身体を横にして休むために畳の間も設置している。家族から季節の花の差し入れもあり、和やかさと季節感を与えている。	
53		<b>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	談話ホールやエレベーター前、ベランダなどに椅子やソファを設置し、好きな場所で過ごせるような環境づくりに努めている。		
54	(20)	<b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b> 居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居前には、使い慣れた家具や持ち物などを持参していただくよう説明している。また、入居後は本人やご家族様と相談しながら、居心地の良い居室づくりに努めている。	居室には使い慣れた筆筒や鏡台等を持ち込み、ぬいぐるみ、カレンダーなどでその人らしさのある居室にしている。職員は、居心地の良さに加えて、地震等の災害時の安全面にも配慮して家具等の配置を工夫している。	
55		<b>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の状況を把握し、安心して安全な生活が送れるよう環境を整えている。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)							
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの				2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある				3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが				2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない

# 自己評価および外部評価結果

ユニット名: やまびこ

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	住み慣れた土地でこれまでと同じように家族や友人、近所の方々と交流を深めながら、生活が送れるよう職員全員で話し合い理念を継続している。		
2	(2)	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	一部の入居者と一緒に地区活動へ参加したり、地域のボランティアを活用したりして積極的に交流を深めれるように取り組んでいる。		
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	傾聴ボランティアの受け入れや、地域民生委員からの相談や近所の方が来られた際には、認知症の人々への理解や支援方法、グループホームについての説明を行っている。		
4	(3)	<b>○運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、事業所での取り組みや行事、入居者様の様子等について報告し、その場で出た意見は収集し、事業所の質の向上に繋げるようにしている。		
5	(4)	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	日頃から小まめに足を運び、些細なことでも連絡や相談を行い、担当者と良好な関係が築けるよう努めている。行政が開催する研修にも参加し、連携が取れるよう取り組んでいる。		
6	(5)	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人全体で取り組んでおり、積極的な研修参加や事業所としても職員会などで勉強を学んでいる。		

7		<p><b>○虐待の防止の徹底</b></p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>法人全体で取り組んでおり、積極的な研修参加や事業所としても職員会などで勉強をし学んでいる。</p>		
8		<p><b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b></p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>法人全体で取り組んでおり、積極的な研修参加や事業所としても職員会などで勉強をし学んでいる。</p>		
9		<p><b>○契約に関する説明と納得</b></p> <p>契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>相談時や申し込み、契約時に説明を行い、理解・納得していただいた上で入居契約を行っている。</p>		
10	(6)	<p><b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b></p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置や日頃からのコミュニケーションを充実させ、入居者様やご家族様の意見や要望を聞いている。聞いた意見や要望は、申し送りや会議で話し合い業務に反映させている。</p>		
11	(7)	<p><b>○運営に関する職員意見の反映</b></p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>日頃から職員とコミュニケーションを図り、常に意見交換をしている。職員会や定期的にアンケートを実施し話し合っている。</p>		
12		<p><b>○就業環境の整備</b></p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>コミュニケーションを図り、職員一人ひとりの生活環境の把握を行い、必要に応じて個別面談や法人への働きかけを行っている。</p>		

13	<p><b>○職員を育てる取り組み</b></p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修情報を職員に提供し、順次参加ができるように働きかけている。毎月の職員会でも勉強会を行い学んでいる。</p>		
14	<p><b>○同業者との交流を通じた向上</b></p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>法人内外の他グループホームとの交流や、研修で知り得た同業者との情報交換を通してサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p><b>○初期に築く本人との信頼関係</b></p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>事前面接を行い、心身の状態や要望などを聞くように努めている。また、可能な場合は事業所を見学して頂き、少しでも不安が解消できるように努めている。</p>		
16	<p><b>○初期に築く家族等との信頼関係</b></p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族様とも事前面接を行い、これまでの経緯や困っている事、要望などの把握に努めている。</p>		
17	<p><b>○初期対応の見極めと支援</b></p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>必要としているサービスがある際は、本人やご家族様と話し合い、法人内外の関係機関や行政と連絡を取り合い調整し、サービスに繋げるなどの対応を行っている。</p>		
18	<p><b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b></p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人と一緒に軽作業や畑仕事などを行いながら、会話を通じて個々の思いや状況把握に努め、生活の中からのいろんな事を教わっている。</p>		

19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>面会時には日頃の様子を報告し、遠方で面会が難しいご家族様には、便りや電話などを利用し報告し要望などを伺うようにしている。</p>		
20	(8)	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>知人や友人、ご家族様の訪問・外出などの交流が継続して行えるよう支援している。</p>		
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>入居者同士の関係について職員間で情報共有し、良好な関係を保てるように職員が間に入り支援している。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>いつでも気軽に相談できるような関係作りに努めている。実際、ご家族様から転院や介護サービスの事で相談を受けたりしている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりの生活歴や日々の生活の中から、本人の要望や意向の把握に努め、困難な方に対しても表情や仕草から思いが汲み取れるよう対応している。</p>		
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>本人やご家族とのコミュニケーションを通して聞き出したりして生活歴の把握に努め、情報は職員間で共有している。</p>		

25		<p><b>○暮らしの現状の把握</b></p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの生活リズムを把握し、一緒に軽作業をする中でコミュニケーションを図り、心身状態や能力の把握に努めている。また、できる事を継続して行えるよう支援している。</p>		
26	(10)	<p><b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b></p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人やご家族様の要望や意見も取り入れながら職員間で話し合い、個々の現状に合った介護計画の作成に努めている。</p>		
27		<p><b>○個別の記録と実践への反映</b></p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別で排泄や食事、日々の様子について記録している。また、職員間で情報共有できるように送りノートを活用し、出勤時には確認している。</p>		
28		<p><b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b></p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人やご家族様の状況に応じて、通院や買い物等の必要な支援を柔軟に行っている。</p>		
29		<p><b>○地域資源との協働</b></p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>消防署に協力してもらいながら、避難訓練や救命講習の受講を行っている。また、地域住民との交流も呼びかけている。</p>		
30	(11)	<p><b>○かかりつけ医の受診支援</b></p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人やご家族様が希望するかかりつけ医を受診できるように支援している。通院は家族同行を基本としているが、緊急時や不可能な際は職員が代行している。</p>		



31		<p><b>○看護職との協働</b></p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>体調の変化がある際は、訪問看護ステーションの看護師と連絡を取り合い、指導・助言・指示をいただき必要な受診や看護を受けられるよう連携を図っている。</p>		
32		<p><b>○入退院時の医療機関との協働</b></p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>相談員やご家族様と連絡を密に取り、できるだけ早期退院ができるような関係性の維持向上に努めている。</p>		
33	(12)	<p><b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b></p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>法人で指針を定めており、入居契約時に本人やご家族様にも説明を行っており、主治医、訪問看護師とも常に連携が図れるような関係性に努めている。</p>		
34		<p><b>○急変や事故発生時の備え</b></p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時や事故発生時についての勉強会を行っている。普通救命講習の受講も随時行うようにしている。</p>		
35	(13)	<p><b>○災害対策</b></p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署、入居者、職員と共に年2回以上の避難訓練を行っている。その際、消火器の使用方法、避難経路や非常食、備蓄品等の確認も行い、自己点検表も記入している。</p>		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	<p><b>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</b></p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>法人全体で取り組んでおり、事業所としても職員会で勉強をし学んでいる。</p>		

37		<p><b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b></p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>日々のコミュニケーションの中で、本人の言動や行動、表情や仕草などを通して意向の把握に努めている。</p>		
38		<p><b>○日々のその人らしい暮らし</b></p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>個々の状況や状態を把握し、一人ひとりのペースに沿った支援に努めている。</p>		
39		<p><b>○身だしなみやおしゃれの支援</b></p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>個々の生活習慣に合わせ、その人らしいお洒落ができるよう支援している。</p>		
40	(15)	<p><b>○食事を楽しむことのできる支援</b></p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>野菜の栽培や収穫を一緒に行い、調理や片付けなども一緒に行っている。</p>		
41		<p><b>○栄養摂取や水分確保の支援</b></p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>摂取量や体重増減の把握に努め、日々の状態を記録し、少ない方や必要な方には嗜好に応じた補食を提供するなどの支援を行い、栄養管理に努めている。</p>		
42		<p><b>○口腔内の清潔保持</b></p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後、声掛けを行い、本人の能力に応じた口腔ケアができるよう支援している。必要があれば歯科訪問診療の調整も行っている。</p>		
43	(16)	<p><b>○排泄の自立支援</b></p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>個々の排泄パターンを把握し、できるだけトイレで排泄ができるよう声掛けや誘導を行っている。</p>		

44		<p><b>○便秘の予防と対応</b></p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘の原因や影響を職員が理解し、食事の工夫や運動を実施し予防に取り組んでいる。また、医療機関と連携を取りながら緩下剤を調整している。</p>		
45	(17)	<p><b>○入浴を楽しむことができる支援</b></p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p>	<p>個々の状況や希望時間、タイミングに合わせて支援している。入浴剤やシャンプー、ボディソープなども変え、楽しんで頂けるように努めている。</p>		
46		<p><b>○安眠や休息の支援</b></p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>夜間、熟睡できるよう、日中の活動を促し、生活リズムが整えられるよう支援している。体調不良時や希望時は、安静や仮眠の時間を個々に設けている。</p>		
47		<p><b>○服薬支援</b></p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方箋を管理し、職員がいつでも用法について確認と把握ができるようにしている。変更や注意事項がある際は随時申し送りを行っている。</p>		
48		<p><b>○役割、楽しみごとの支援</b></p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>個々のできる事や好きな事を把握し、職員と一緒に出来るよう支援している。</p>		
49	(18)	<p><b>○日常的な外出支援</b></p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>個々の体調や希望に合わせて、散歩や買い物、ドライブで外出している。畑の世話や駐車場で日光浴をしながら話している。</p>		

50		<p><b>○お金の所持や使うことの支援</b></p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ご家族様や事業所管理であるが、希望する際は職員が同行し、買い物支援等も行って</p> <p>いる。</p>		
51		<p><b>○電話や手紙の支援</b></p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>入居者様には、いつでも電話をしたり、手紙を出したりできるように話をしている。</p>		
52	(19)	<p><b>○居心地のよい共用空間づくり</b></p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の変わり目には、その時期の季節飾りを一緒に飾るようにしている。</p>		
53		<p><b>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b></p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>談話ホールやエレベーター前、ベランダなどに椅子やソファを設置し、好きな場所で過ごせるような環境づくりに努めている。</p>		
54	(20)	<p><b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b></p> <p>居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居前には、使い慣れた家具や持ち物などを持参していただくよう説明している。また、入居後は本人やご家族様と相談しながら、居心地の良い居室づくりに努めている。</p>		
55		<p><b>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</b></p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>個々の状況を把握し、安心して安全な生活が送れるよう環境を整えている。</p>		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)						
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	
					1. ほぼ全ての利用者の	1. ほぼ全ての家族と
					2. 利用者の2/3くらいの	2. 家族の2/3くらいと
					3. 利用者の1/3くらいの	3. 家族の1/3くらいと
		4. ほとんど掴んでいない	4. ほとんどできていない			
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	64	グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	
					1. 毎日ある	1. ほぼ毎日のように
					2. 数日に1回程度ある	2. 数日に1回程度
					3. たまにある	3. たまに
		4. ほとんどない	4. ほとんどない			
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	
					1. ほぼ全ての利用者が	1. 大いに増えている
					2. 利用者の2/3くらいが	2. 少しずつ増えている
					3. 利用者の1/3くらいが	3. あまり増えていない
		4. ほとんどいない	4. 全くいない			
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	
					1. ほぼ全ての利用者が	1. ほぼ全ての職員が
					2. 利用者の2/3くらいが	2. 職員の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが	3. 職員の1/3くらいが
		4. ほとんどいない	4. ほとんどいない			
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	
					1. ほぼ全ての利用者が	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが	2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが	3. 利用者の1/3くらいが
		4. ほとんどいない	4. ほとんどいない			
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	
					1. ほぼ全ての利用者が	1. ほぼ全ての家族等が
					2. 利用者の2/3くらいが	2. 家族等の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが	3. 家族等の1/3くらいが
		4. ほとんどいない	4. ほとんどできていない			
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○				
			1. ほぼ全ての利用者が			
			2. 利用者の2/3くらいが			
			3. 利用者の1/3くらいが			
		4. ほとんどいない				